

会社案内

株式会社イズミ

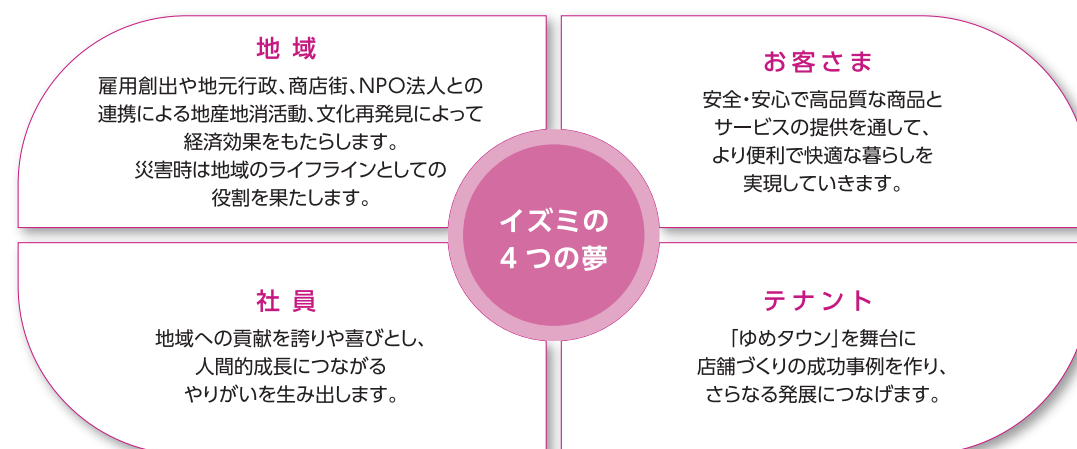


## 経営理念

# 社員が誇りと喜びを感じ、 地域とお客さまの生活に 貢献し続ける

ずっと変わらず、お客さまの暮らしに、  
安心・楽しさ・温もりを届けます。  
すべての店舗は、地域に寄り添い、  
地域と共に歩み続けます。  
働く人にとって、個性を発揮でき、  
誇りと喜びを感じてもらえる  
場になります。

イズミは、新しい経営理念のもと、  
地域に暮らすあらゆる人の  
yumeを見つめ、  
カタチにしていきます。



健やかで豊かな暮らしを実現するために。

# 「街の核」へ。 私たちだからこそできることを追求し、 貢献し続けてまいります。

地域やコミュニティに求められるものは常に変化を続けており、ネットによるコミュニケーションやオンラインショッピングが急速な発展を続ける現在だからこそ、その重要性も一層高まっています。

私は入社以来数十年間、リアルな力をこの目で見てきました。何もなかった土地にお店ができ、人が動き、その周辺に次第にその他の店舗も立ち並んでいった様子を。何年も掛けてそれは進み、住宅地ができ、時には駅もできました。人がどこかに住まい、家族を持ち、生きていくという事実には抗いようのないリアルがあり、だからこそゆめタウンやゆめマートなどの「人が集う場」には人生や地域そのものに関わり、並走する力があるのだと思います。

いま、我々は店舗を「街の核」に育てたいと考えています。店舗、小売という概念を超え、世代を超えた人々が集まるコミュニケーションの拠点であり、雇用やビジネスをうみだす拠点であり、災害時には避難や復興の拠点となる、未来づくりの拠点となっていく、そんな空間です。図書館を併設したゆめタウンシティモールでは図書館利用者が4万人から28万人へと激増し、街に人の流れをうみだしました。子育てスペースを自治体と協働で整備中のゆめタウンもあります。こうした積極的で、広い観点からの貢献こそ、イズミグループ経営理念「社員が誇りと喜びを

感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」に込めた想いです。

少子高齢化が進み、物価が上がり、気候変動や災害が続くなか、誰もが地域や社会の未来を模索し続けています。ですが店舗という大きな空間を「街の核」にするこだわりを持ち、革新を続けていくことで地域に貢献していくことは必ずできます。

DXによる効率化の追求や店舗ごとの個性の深化、自治体や他組織と協働した新たなサービスの開発、環境への貢献など、私たちにできることはまだまだあります。

社会を見つめ、常に先駆けて革新し続けてきたことこそ、変わらぬイズミの強みであり受け継いでいくべきDNA「革新・挑戦・スピード」です。変化し続ける時代に応えながら、私たちはこれからも地域の皆さまと共に進化し続けてまいります。

株式会社イズミ代表取締役社長 町田 繁樹



# VISION 安心・便利・サステナブルな未来へ。

サステナブルなお店・企業を目指して、時代に合わせた新しい店づくり・街づくりを加速させていきます。

第二次中期経営計画 2021年3月～2026年2月

## 2030年長期ビジョン

- ◎ ゆめ (you me) あふれる地域との共創への挑戦
- ◎ 中四国・九州エリアを軸にした300店舗体制の実現
- ◎ 営業収益1兆円・売上高営業利益率5.5%を達成 2031年2月期  
(収益認識に関する会計基準等を適用前)

2025年度  
数値目標

営業収益 8,300億円 ・ 営業利益 410億円  
(収益認識に関する会計基準等を適用前) ・ 売上高営業利益率 5.2%

※2023年4月 第二次中期経営計画見直し

## 6つの事業戦略

1

### SM改革

(SM:食品スーパーマーケット)

次世代SM開発・店舗網の拡大  
によりドミナント効果の  
最大化を図る

- 新規出店、M&Aによる商圏シェアの拡大
- デジタル×リアル融合店舗による次世代SMの実現
- 生鮮・惣菜での価値提供や品揃え地域対応

2

### GMS改革

(GMS:総合 小売、ショッピングセンター)

地域や行政と連携し、  
お客さまの  
集まる拠点に

- 図書館や公的施設のコミュニティ機能の強化
- 有力テナントさまとの協業
- ライフスタイルの商品力と提案力の強化
- サービス区画の拡大

3

### デジタル コマースの実現

デジタルを活用した  
顧客関係強化と  
出店地域の利便性向上

- 「ゆめオンライン」店舗連動型セレクト通販
- 「ゆめデリバリー」地域密着型デリバリーサービス
- 「ゆめアプリ」バーコード決済を始めとした多機能アプリ
- CDP※による販促運用効率化

※CDP…顧客の属性データや行動データを統合管理するデータプラットフォーム

4

### 業務改革と 人材育成の推進

DXによる業務改革と  
現場力強化による  
モチベーションアップ

- 在庫水準の適正化とロスの低減
- 作業MH※の削減により創出した時間で、人材教育、スキルアップ教育を推進
- 労働生産性アップによる収益力の向上

※作業MH…作業マンアワー

5

### ESG(環境・社会・ガバナンス) への取り組み

地域やお客さまと、  
ずっとつづく  
未来のために

- 地域から頼りにされる拠点づくり
- 気候変動を和らげる
- 人と地球にやさしい商品づくり
- みんなが住みやすい街づくり
- 働きがいのある職場づくり

6

### グループ経営 の強化

自治体や企業と  
連携して  
事業領域を広げる

- 地域でのサービス向上を通じてグループ経済圏の拡大
- グループエコシステムの機能強化
- M&A・アライアンスによる事業領域の拡大
- 地域連携による外部収益の拡大



地域とともに、皆さまとともに、  
you me あふれるMIRAIへ。

地域に根ざし、毎日の暮らしをサポートする3つの業態



#### 活気をうみだし、絆をはぐくむ地域の拠点となる大型商業施設

ご家族3世代で楽しめる空間をテーマにした大型商業施設です。企画・運営を各店舗に任せることで各地域のライフスタイルに最適な商品・サービス・時間を提供する「地域密着型店舗」として展開。ショッピングだけでなく、コミュニティ機能も充実させ、地域から頼りにされる拠点づくりを目指しています。 ▶詳しい内容はP07をご覧ください。



#### 車で5分圏内を主な商圈に、日々の生活に寄り添う小型店舗

誰もが毎日通いやすい住宅密集地に店舗を展開する、食料品を中心としたスーパーマーケット。イズミのドミナント戦略の成長ドライバーです。社会の変化に合わせてコミュニティ機能の拡充やデジタル化を進め、もっと便利で楽しいお店に。身近な存在として、日々の生活を支えます。 ▶詳しい内容はP11をご覧ください。



#### 暮らしの豊かさをひろげるディベロッパー事業

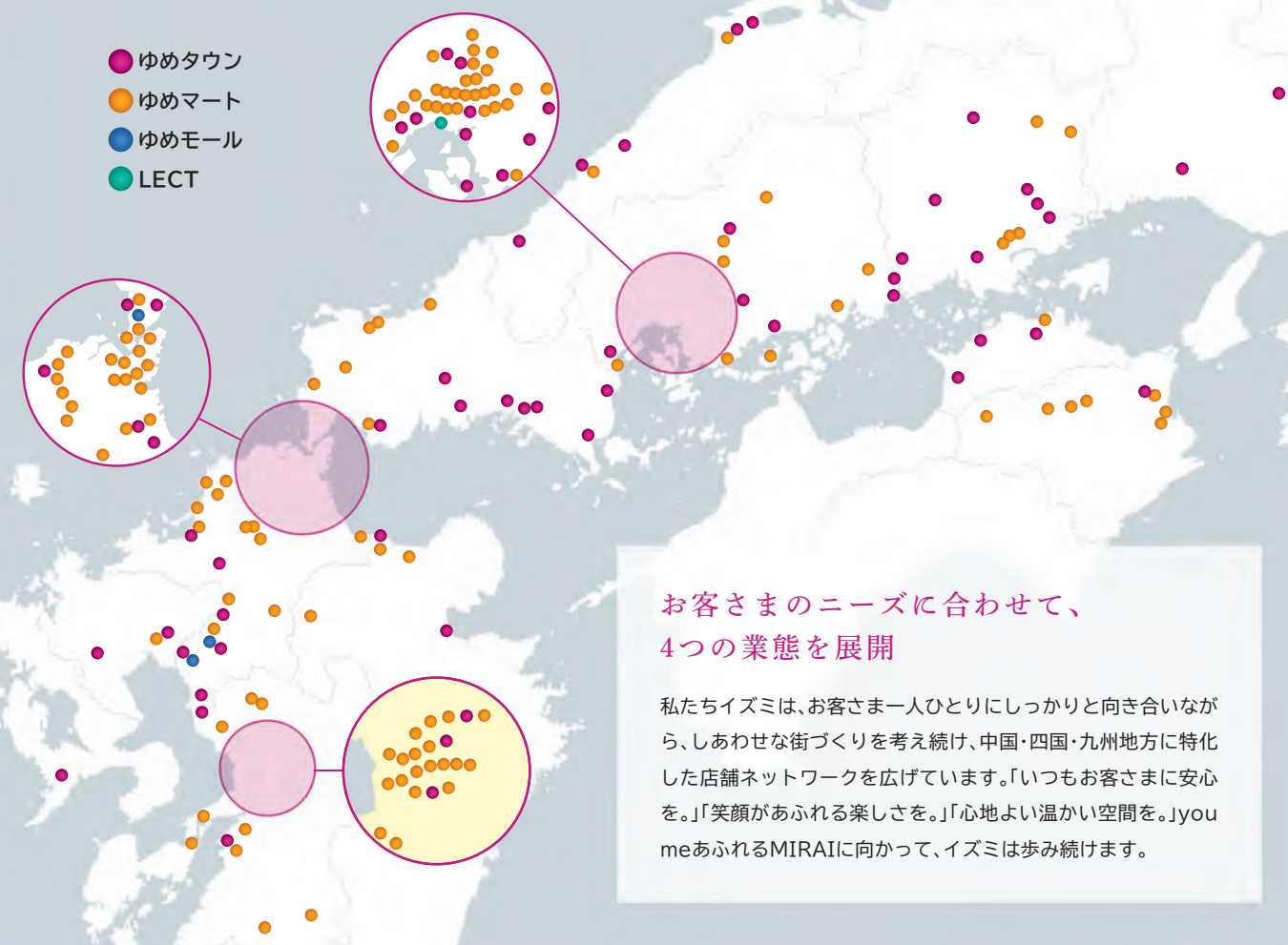
「ゆめマート」の食料品を核に、衣料品・日用品・医薬品・クリーニング・飲食などの利便性の高い多様な専門店を集約し、地域の新たな生活拠点づくりを実現。敷地の広さに応じてホームセンターや家電量販店・スポーツ店などの広域集客施設の入店も推進し、新たなショッピングセンターの形を目指します。 ▶詳しい内容はP12をご覧ください。

新たな空間・時間づくりに挑む新業態



#### モノやコトの向こうにある「トキ」を届ける

Living(住)、Eating(食)、Culture(知)、そしてTown・Time(街・時間)。メインテーマである「知・食・住」にちなんで名づけられたLECTは、お客さまの生活の中に「もうひとつの居場所」と「もうひとつの時間」が生まれる時間創造型のライフスタイルを提案しています。 ▶詳しい内容はP10をご覧ください。





you  
me

3世代で楽しめるエンターテインメント空間へ。  
お客さまも、街もしあわせにする地域の拠点。

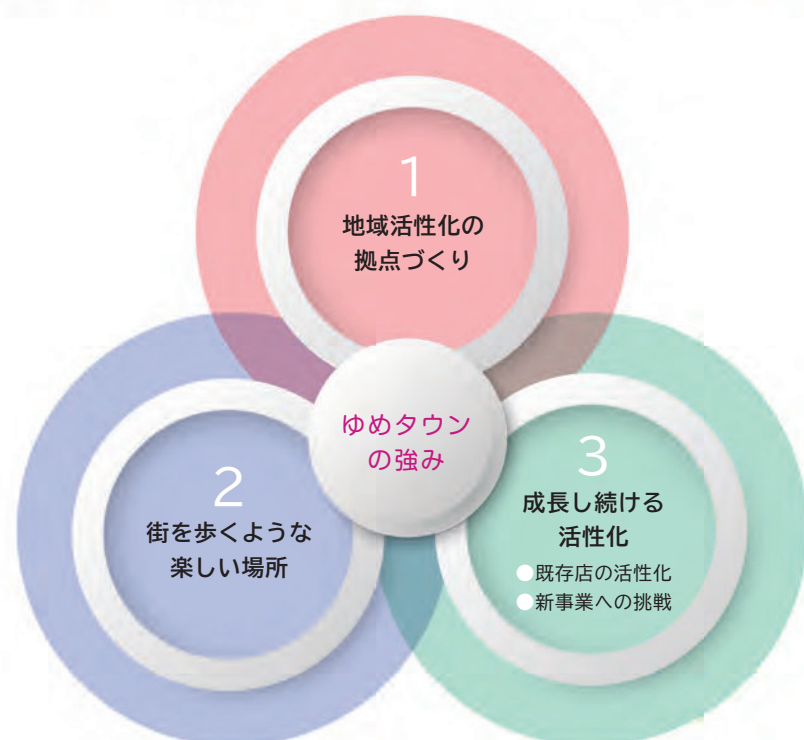
## ゆめタウン



ゆめタウン廿日市(広島県廿日市市)

どんなお店？

ご家族3世代で楽しめる空間をテーマにした大型商業施設です。広域エリアからの集客を目指し、イズミの直営店舗と旬のテナントをミックスさせ、多様な商品・サービス・時間を提供しています。企画・運営は、各店舗の支配人・店長やスタッフに任せられた「地域密着型」。伝統・文化、歴史などの地域性やトレンドに対応した店舗運営を行っています。既存店のリニューアルや増床にも取り組み、地域のまちづくりと連動し、お客さまに感動を与える施設づくりを目指します。



1

ゆめタウンの強み

### 地域活性化の拠点づくり

ゆめタウンでは各店舗の支配人・店長・スタッフにその地域に適した店舗運営を任せています。地域によって品揃え、テナントの種類、店舗の形態が異なるのもそのためです。また行政と連携したサービスなども積極的に実施しています。さらに、健康を体感する自然環境との融合や、魅力を体感するエンターテインメントなど、地域のまちづくりと連動し、お客さまに感動を与える施設づくりを目指しています。

#### 最新技術の導入や地域に寄り添ったイベントを開催



※写真はイメージです



体感エンターテインメントとして、一日中楽しむことができる、最新デジタル技術を導入したアミューズメントを設置。他にも、近隣で開催するイベントなど地域の自主的な活動への会場提供・情報発信に協力を行っています。

#### 市立図書館が開館



ゆめタウンあらお(熊本県荒尾市)を核とした「あらおシティモール」に、荒尾市立図書館が入館します。旧図書館の老朽化に際し、地域文化の持続を目的に、荒尾市と紀伊國屋書店、荒尾シティプランが協定を結び、移転を実現しました。

#### ワクチン接種会場を開設



各地域の行政や自治体と連携し、ゆめタウン内の一角を新型コロナウイルスワクチン接種会場として提供。お客さまや社会全体の安心安全へと繋げ、コロナウイルスの感染拡大防止、および早期終息に貢献してまいります。

#### 期日前投票所を開設



ゆめタウン久留米では、2021年10月31日の衆議院議員選挙に先立って、投票率の向上に貢献することを目的に期日前投票所を開設。「買い物ついでに投票ができて便利」と、お客さまに喜ばれました。

1

ゆめタウンの強み

### 街を歩くような楽しい場所

一般的には「区分けする」直営店とテナントさまのゾーニングをあえてミックスすることにより、自然発生的な街や商店街に生まれる雑多さや、複雑な導線、出会いの楽しさを生み出しています。そして、店舗の形状や個性により、多様な「ミックス」形態を展開しています。

イズミの直営売場 専門店

#### 1. サンドイッチ方式でミックス



#### 2. サーキットのセンター方式でミックス







## 成長し続ける活性化 ●既存店の活性化 ●新事業への挑戦

ゆめタウンは、お客さまの活気や絆を育む「地域の拠点」。だからこそ長年愛された既存店も変わり続けなければなりません。日々の改善はもちろん、定期的な大規模なリニューアルや増床を実施。「いつも新しい」地域活性化の拠点として、ゆめタウンはいつまでも進化を続けます。

### 既存店の活性化

1990年公共性を備えた複合型大型ショッピングセンターとしてオープンした「ゆめタウン東広島」。オープンして30年たった今も日々お客さまのニーズに対応すべく進化を続けています。



ゆめタウン東広島(広島県東広島市・1990年オープン)

#### オープンからの活性化の歴史

- ◎1995年 活性化  
食品売場の拡大  
衣料品・住居関連品売場の改装を実施
- ◎2000年 活性化  
別館オープン  
無印良品やエクセルが新たに仲間入り
- ◎2020年 活性化  
開店30周年リニューアルオープン



### フランチャイズ事業の拡大

専門店をイズミの直営売場として運営するフランチャイズ事業。婦人服のSHOO・LA・RUEや書籍の宮脇書店に続き、3COINS+plusとPlugs Marketの運営も開始しました。店舗付加価値を高めると共に、新たな雇用の創出や、地域経済の活性化、また新しい顧客層の獲得を目指していきます。今後も地方出店を検討しているテナントさまと共に積極的に取り組みを進めます。

#### 3 COINS+plus



株式会社バルさまの「3 COINS+plus」をイズミがFCとして運営。35～40歳の女性をターゲットとし、300円商品のほか食料品の取り扱いも強化。ゆめタウン夢彩都を皮切りに展開店舗を順次拡大していきます。

●ゆめタウン夢彩都 ●ゆめタウンみゆき ●ゆめタウン下松

#### Plugs Market



「地方を元気に！」をキーワードに東急ハンズさまがプロデュースする地域の魅力の発見、発信、可能性を育むプロジェクトです。各地域との連携により、地域商品・イベント・情報発信などを実施していきます。

●ゆめタウン下松

※2021年12月時点

## LECT

我が家のように居心地のよい「第3の場所」へ。  
毎日、行きたくなる。わざわざ、行きたくなる。

## LECT レクト



### どんなお店？

Living(住)、Eating(食)、Culture(知)、そしてTown・Time(街・時間)の頭文字をとった「LECT」。「知・食・住」3つのキーテナントを中心に、自宅や職場、学校とは別の、さまざまな発見や心地よさに満ちた「第3の場所」を創造し、お客さまに特別な「トキ」を提供します。ホームセンターの枠を超えた住空間提案や約1,000席のフードコート、年間2,000回以上開催される多彩なイベントなど、創意工夫を継続し、新たな価値の創造に取り組んでいます。またLECTでは独自のLINEやインスタグラムでの情報発信を実施しており、フォロワーは1.7万人とファンが増え続けています。



LECT  
の強み

### PICK UP

#### 年間2,000ものイベントを開催しています



大好評のドッググリーティング



シニアファッションショー



屋上でのヨガ教室

子育て世代のお客さまを取り入れるため、SNSでの施策を推進。また「365日毎日イベント開催」では、子育て世代や働く女性に向けて、屋上でのヨガ教室やリトミック、シニアファッションショーなどを実施。イベントを通じて「ファン化」「口コミ」が拡充・深化しています。





いつものお買い物をもっと便利に、もっと楽しく。  
お客さまの毎日に寄り添う生活の拠点。

## ゆめマート



ゆめマート田崎(熊本県熊本市)

### どんなお店？

広域エリアを対象とする「ゆめタウン」に対し、「ゆめマート」は地域に根ざした身近で便利な生活拠点です。イズミが大切にしている「いいものが安い」を徹底的に追求し、食料品を中心に、日用雑貨や肌着などの衣類を取り扱うなど、地域性に合わせた商品構成を実践しています。ご高齢の方も通いやすい住宅地などに店舗を展開。地産地消の推進をはじめ、公共料金の支払い機能などサービスステーションとしての役割も強化し、「暮らしに寄り添う」サポート力を高めています。



1

ゆめマートの強み

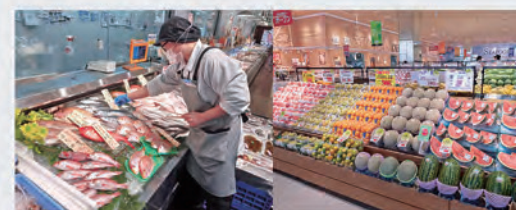
1

ゆめマートの強み

1

ゆめマートの強み

### 車で5分圏内に特化した商品の品揃え



車商圏5分のシェア率15%を目指しており、ご来店される方や近隣の住民の方にアンケートなども実施。また、近隣の漁港から朝獲れの生魚を直送するなど、地域ならではの鮮度にこだわった商品を品揃えしています。



### いつきても楽しいイベントやフェアを実施



毎月「知っ得カレンダー」を発行し、店頭に設置。2週間ごとに「いちごフェア」などの季節にあったフェアを実施。そのためいつきても楽しい企画が満載です。またお買い物ついでに参加できるイベントも実施。「はじめてのおかいもの」はSM店舗で好評のイベントです。



### 地域に密着したドミナント戦略



福岡県内では北九州市を中心に31店舗、熊本県内では熊本市内を中心に28店舗展開しており、市内の地盤を固めドミナント戦略を実施しています。ご来店されるお客さまのニーズに迅速に対応し、身近な存在としてゆめマートの認知度を高めていきます。

※2021年12月時点



めぐる楽しさ、欲しいものを見つける喜び。  
地域の豊かさを広げる  
ライフスタイルセンター。

## ゆめモール



ゆめモール下関(山口県下関市)

### どんなお店？

「ゆめマート」の食料品を核に、衣料品・日用雑貨・医薬品、さらに美容室・フィットネスクラブ・クリーニング店・飲食店などの日常生活のワンストップショッピングを軸とする利便性を高める多様な専門店を集約し、地域の新たな生活拠点づくりを実現します。敷地の広さに応じてホームセンターや家電量販店・スポーツ店などの広域集客施設の入店も推進してまいります。また、施設の利便性を高めるサービス機能、地域のコミュニティの場となるソフト・ハード機能整備にも積極的に取り組み、新たなSCの形を目指します。こうした地域の活性化に貢献できる力が評価され、再開発計画など自治体と連携したディベロッパー事業も進んでいます。





デジタル化の進展に対応し、お客さまの笑顔あふれるMIRAIへ。  
時代にマッチしたお買い物＆お店をイズミから。



## 進化するゆめタウン公式通販サイト ゆめオンライン

会員制のショッピングサイト「ゆめオンライン」がパワーアップ。衣・食・住、日々の暮らしに欠かせない商品に加え、お客さまのニーズに応じて生鮮食品の取り扱いを開始しました。さらに、ギフト商品、お正月・お盆などの催事商品を提供するとともに、お客さまと生産者とのつながりを生む、ゆめオンライン独自の産地直送サービスやライブ動画を使用した新しいeコマース「you meライブ」も実施しています。



お客さまの声に耳を傾けながら、新しい社会環境・生活スタイルに対応したデジタル化を進め、  
「新しいお買い物スタイル＆サービス」「新しいお店づくり」「欠かせない地域サービス」を実現していきます。



## 便利でお得なお買い物情報を提供 ゆめアプリ

2021年4月にこれまでの「ゆめタウンアプリ」が「ゆめアプリ」にリニューアル。便利なカードレス決済やデジタルクーポン機能などを備えるとともに、アプリとお客さまの購買データをリンクさせることでお一人おひとりに合わせたお得なセール情報なども発信できるようになりました。この「ゆめアプリ」の広がりとともに、店舗も業務効率に効果的なデジタル化を加速させていきます。

### you me ゆめアプリ

お客さまのメリット  
お買い物により便利でお得に！

- カード連携
- バーコード決済
- デジタルクーポン

店舗のメリット  
デジタル化でサービス強化

- 購買データ活用
- 客数増加
- 客単価アップ



## ビッグデータ収集で顧客満足度UPへ ゆめか

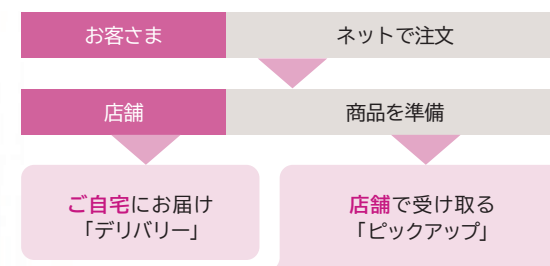
繰り返しチャージ(入金)して使える電子マネー「ゆめか」に加え、ゆめか一体型のショッピングクレジット「ゆめかクレジット」も含めると、累計発行枚数は2021年10月時点で830万枚を超えています。また2022年3月より、全国のJCBコンタクトレス加盟店で非接触決済が可能となります。



電子マネー「ゆめか」・「ゆめかプラス」



## 生鮮食品・日用品の宅配サービス ゆめデリバリー



### 3種類のピックアップ

ドライブ ピックアップ	ロッカー ピックアップ	カウンター ピックアップ
駐車場で受け取り	店外ロッカーで受け取り	サービスカウンターで受け取り

出店店舗の15分圏内を対象に、生鮮食品や日用雑貨をご自宅にお届けする「ゆめデリバリー」が2021年6月スタート。Web・アプリで注文した商品をご自宅や店舗で受け取るデリバリーサービスを充実させることで、店内の混雑や重い荷物の持ち運びなどの不便さを解消。子育て世帯、共働き世帯、高齢者世帯をはじめ、各店舗周辺エリアに暮らすお客さまのお買い物満足度をアップさせます。

## 子育て応援パス

忙しいパパ・ママをゆめデリバリーがサポート！

配達料金が4歳までいつでも  
**100円** (税込110円)

### 子育て応援パス

仕事や子育てで忙しいパパ・ママを応援するサービス。母子手帳を登録するだけで、お子さまが4歳になるまでいつでも配達料金が税込110円になります。

## 公平に、不自由なくご来店いただける未来を描く 新たなモビリティサービスによるお買い物支援プロジェクト

東広島市の「ゆめタウン学園店」で新たなモビリティサービス(MaaS)によるお買い物支援プロジェクトが2021年2月スタート。オンデマンドバスで送迎と商品宅配を同時に行うサービスや、注文した商品を店頭で受取る実証実験などを段階的に行い、自動運転社会を見据えたお買い物サービス創出を目指します。



広島大学キャンパスを走る自動運転車

## 品切れ防止や廃棄削減に効果的 需要予測型自動発注システムの導入

お客さまの「欲しい」を予測し精度の高い仕入れを可能にする「需要予測型自動発注システム」を2019年3店舗に先行導入しました。品切れ防止や廃棄削減に効果的であると同時に、発注業務の負担軽減が期待できます。現在、デパート・食品部は全店導入。加工食品、住まい暮らしの品も導入中です。今後導入部門を拡大していきます。



需要予測型自動発注システム



みんなにやさしい、うれしい、持続可能なMIRAIへ。  
サステナブルなお店・企業を目指していきます。

イズミのSDGs

youme MIRAI Action

達成すべき目標

2023年までに達成すべき目標

女性管理職比率 **20%以上**

イズミでは2014年に「ゆめCanプロジェクト」(女性活躍推進プロジェクト)を立ち上げました。課題を洗い出し、きめ細かい対策を会社に提言することで、男女ともに働きやすい職場を創出していきます。

2050年までに達成すべき目標

温室効果ガス排出量実質 **0**

地球温暖化を防ぎ、未来の子どもたちに美しい自然を残すために環境保全活動に取り組んでいきます。「クールビズ」「空調温度の調整」「買い物袋の持参」など一人ひとりが身近な取り組みを積み重ねることが温室効果ガス排出量ゼロにつながります。

2030年までに達成すべき目標

食品ロス **50%削減** (2018年度比)

社会の関心が高く、企業に求められる役割も大きくなっています。イズミも食品を販売している企業として、食品ロスへの取り組みが必須です。一人ひとりが「もったいない」という意識を持ち、まだ食べられるのに捨てている食品を減らすことでSDGsに貢献していきます。

プラスチック製包装資材 **80%削減** (2018年度比)

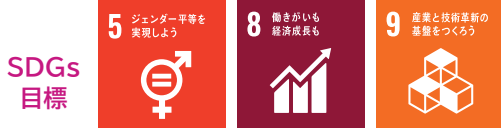
石油から作られたプラスチックは燃やすと、二酸化炭素を増加させ、地球温暖化につながります。イズミでは、2020年7月より全店レジ袋を有料化しました。今後も、お客さまと協力してプラスチック製包装資材を削減し、気候変動への対策を実施していきます。

食品リサイクル率 **70%**

食品廃棄物等については、飼料や肥料として「再生利用」し、資源の有効活用をしています。リサイクルをすることで、天然資源の使用量を減らし、地球にやさしい企業を目指します。

01 働きがいのある職場づくり

先端テクノロジーを活用することで働き方を見直していくなど、ワーク・ライフ・バランスの充実した働きがいのある職場づくりを進めます。



02 地域から頼りにされる拠点づくり

店舗がある自治体、周辺地域の事業者さまと連携して、地域のお客さまが集まる拠点としての機能を充実させていきます。



03 気候変動を和らげるために

美しい地球を未来へとつないでいくために、省エネルギーの推進および再生エネルギーの活用、資源の有効活用積極的に取り組んでいきます。



04 人と地球にやさしい売場づくりを

地球環境に負担をかけないよう、テナントさま、お取引先さまとともに発注や販売方法の工夫に取り組み、商品のロスを減らします。



05 みんなが住みやすい街づくり

ちいさな子どもたち、高齢の皆さまなど、誰もが住みやすい地域づくり・街づくりに取り組んでいきます。



SDGsは、すべての人々にとってよりよい、持続可能な未来を築くための世界共通の目標です。  
私たちイズミも、サステナブルなお店・企業を目指して、地域に、地球環境に、より大きく貢献していくためのさまざまな取り組み「youme MIRAI Action」を進めています。

取り組み事例

「ゆめジャングルほいくえん」の設置



女性従業員の子育て・介護支援のため「企業主導型保育施設」設置を進め、2021年、ゆめタウン廿日市に2園目を開設。テナントさまや地域住民の方もご利用いただけます。

「夫婦で子育て休暇」の新設



男性がより取得しやすい育休制度を目指し、配偶者が出産した男性社員を対象に、生まれて8週間以内に3日間の連続休暇が取れる「夫婦で子育て休暇」を設けました。

地域行政と経済発展や防災で連携



地域活性化への多面的な協力を約束する「包括連携協定」、万が一に備えた「災害時における物資協定」「避難施設の協定」を各地で締結。絆をさらに深めています。

「買い物かご除菌装置」の共同開発・導入



短時間で高い効果を発揮する除菌装置(新型コロナウイルス不活性化効果99.9%以上)を広島大学病院感染症科、(株)ヒロテックと共同で開発。各店舗に導入しました。

制服リサイクルのエコバッグが誕生



不要になったイズミの制服をポリエステル原料等に再生し、エコバッグを作りました。キャンペーンでお客さまにプレゼントするなど、環境意識向上につなげています。

太陽光パネル設置を拡大



脱炭素社会に向けて、店舗屋上や屋根への太陽光パネル設置を積極的に進めています。現在20店舗に設置が完了。大幅なCO2排出量削減および電気代削減を実現しています。

「フードドライブ」で食品ロス削減



家庭で眠っている食品(賞味期限1カ月以上前)を持ち寄り、フードバンクを通じて寄付するフードドライブの取り組みを、ゆめマート全37店舗で実施しています。

「てまえどり」啓発の取り組み



販売期限切れによる食品ロスを減らすために、商品棚の手前にある販売期限の迫った商品から買ってもらう「てまえどり」を呼びかける取り組みをいち早く始めました。

お買い物で社会貢献できる仕組みづくり



購入金額の一部が寄付され、社会課題の解決に貢献できる、お買い物の形をつくり出しています。2021年に実施したキャンペーンでは、全国の「こども食堂」を支援しました。

「もぐもぐチャレンジ」実施店舗拡大



お買い物が食品ロス削減や子ども食堂の支援につながる「もぐもぐチャレンジ」の実施店舗数を続々拡大。楽しいキャラクター企画でお客さまと共に食品ロスを削減します。



地域のお客さまの暮らしに寄り添い、貢献し続ける。

地域の災害からの復興に向けた支援活動

日常生活が脅かされる自然災害時、私たちが果たせる役割とは何か。イズミグループでは大規模災害時の基本方針「生命の安全確保」「重要業務の継続(事業継続)」「地域社会の安全確保への協力」を定め、地域のお役に立ち、お客さまに安心と笑顔をお届けしてまいります。

2016年4月 熊本地震



イズミの支援活動に感謝の意を伝えるくまモン

熊本県内のゆめタウンのうち、被害により臨時休業した1店舗を除く8店舗では、食品売場の営業再開を再優先し、お客さまの不安を解消できるよう素早く対応。また、前震翌々日からは、171店舗で募金を開始しました。



ゆめタウンサンビアン営業再開(9月)

2018年7月 西日本豪雨



断水のため、飲料のケース売りに人が集中

豪雨により「陸の孤島」になった広島県呉市に、チャーター船で、水や生鮮食品などを満載したトラック2台を輸送しました。災害発生から4日後には、売場はほぼ通常に戻り、断水の中「助かった」との声をいただきました。



広島県庁で湯崎英彦知事に復興支援金を寄贈

2020年 7月豪雨



人吉市の松岡隼人市長(右)とゆめマート熊本の山野正道社長

豪雨により、熊本県を中心に河川氾濫などが発生し、「ゆめマート人吉」も浸水。イズミグループで店頭募金を実施し、寄せられた597万円を日本赤十字社に寄託。またイズミより6,000万円の復興支援金を7市町村に寄贈しました。



浸水した「ゆめマート人吉」

どんな時も、地域に暮らし・働き・生きる、すべての人を応援し支えたい。  
これは、真の地域企業を目指す私たちイズミが一番大切にしている思いであり、そのためにさまざまな取り組みを行っています。

地域と連携し、取り組みをサポート

「人吉・球磨復興支援企画」を行政とともに実施



令和2年豪雨災害から1年。まだまだ災害の爪痕は色濃く残っているなか、地元の商品を盛り上げようと、行政と連携し、ゆめタウン八代で「人吉・球磨復興支援企画」を実施。蔵元復興のため売上の一部を球磨焼酎災害義援金口座に寄付しました。今後も地域とともに、さまざまな取り組みを続けていきます。

ゆめたかマルシェシリーズ「かがわ県産品コンクールマルシェ」を開催



県産品の掘り起こし、販路拡大の支援を図るため香川県が開催している「かがわ県産品コンクール」をゆめタウン高松で開催。第19回回事賞・優秀賞を受賞された商品の販売とともに、イズミの直営売場で展開している地元商品と一緒に販売。行政や地域と連携して実施している「ゆめたかマルシェ」は毎回ご好評をいただいています。

「ますようDEかっちゃん祭」を開催



毎年、ゆめタウン益田では、ゆめ広場に特設コーナーを設け、島根県立益田養護学校の生徒のみなさんが作業学習で作ったさまざまな製品を販売し、地域のお客さまからもご好評をいただいています。

地域のスポーツチームの振興・発展を支援

地域に夢や活力を与えてくれる、野球やサッカーなどスポーツチームに協賛しています。  
イベントなどを通じて、地元スポーツチームの選手と地域の子どもたちがふれあう活動にも取り組んでいます。

イズミメイプルレッズ



東京2020オリンピックに出場した近藤選手 小学校でのハンドボール教室の様子

日本ハンドボールリーグ所属の「イズミメイプルレッズ」はイズミの実業団チームです。選手はイズミグループの企業に勤務し、仕事と競技を両立。東京2020オリンピックに3選手が出場。体験教室開催など、ハンドボールを通して地域のスポーツ振興に努めています。

広島東洋カープ



ゆめタウンスポンサードゲーム

現役選手やOBがスクリーンに登場

イズミは広島東洋カープのオフィシャルスポンサーです。毎年、抽選でファンを招く「ゆめタウンスポンサードゲーム」を開催。また、「カープファン感謝デー」にも協賛しています。今後も引き続き、地域を元気にしてくれる広島東洋カープの活躍を応援していきます。

福岡ソフトバンクホークス



福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサーであるイズミは、1995年以来九州地方に多くの店舗を展開しています。共に九州・福岡を盛り上げるべく、今後も応援を続けていきます。

サンフレッチェ広島



イズミはサンフレッチェ広島の「サッカー事業を通じて、夢と感動を共有し、地域に貢献する」というクラブ理念に賛同し、クラブトップパートナーとして活動を応援しています。

地域の発展へ行政と連携

産業振興や市民サービスの向上、防災など、地域が直面している課題の解決に向けて、イズミでは県や市町などとの連携を進めています。  
万が一の災害に備えた協定も、各地の行政と締結。地震や台風、豪雨災害などの際には、物資供給や避難場所提供などの支援を行っています。

●行政との協定一覧

包括協定		災害時における物資協定			
県名	締結日	県・市・町名	締結日	県・市・町名	締結日
広島県	2011年 9 月 6 日	香川県	2005年11月14日	広島市(広島県)	2012年 2 月22日
熊本県	2011年12月20日	福岡県	2006年 3 月28日	井原市(岡山県)	2012年 5 月 8 日
廿日市市(広島県)	2015年 6 月 6 日	広島県	2006年10月 5 日	八女市(福岡県)	2013年 2 月 1 日
山口県	2016年 9 月 1 日	佐賀県	2006年11月27日	佐賀市(佐賀県)	2013年 3 月21日
周南市(山口県)	2016年 9 月30日	熊本県	2007年 1 月10日	うきは市(福岡県)	2013年 4 月 1 日
広島大学(広島県)	2017年 4 月19日	山口県	2007年 1 月18日	大竹市(広島県)	2013年 9 月25日
宗像市(福岡県)	2017年10月26日	島根県	2007年 3 月20日	八代市(熊本県)	2013年 8 月 5 日
岩国市(山口県)	2021年10月28日	長崎県	2007年 9 月21日	周南市(山口県)避難施設含む	2014年 3 月14日
避難施設の協定		菊陽町(熊本県)	2007年 2 月 1 日	公立玉名中央病院(熊本県)	2014年 6 月 1 日
市・町名	締結日	合志市(熊本県)	2007年 6 月 1 日	廿日市市(広島県)	2015年 6 月 6 日
中津市(大分県)	2011年 8 月25日	高松市(香川県)	2007年11月21日	山口県警察本部(山口県)	2016年10月 1 日
藍住町(徳島県)	2011年11月21日	防府市(山口県)	2008年 5 月22日	三豊市(香川県)	2018年 3 月23日
呉市(広島県)	2012年 2 月20日	瀬戸内市(岡山県)	2008年 6 月 1 日	赤磐市(岡山県)	2018年 9 月 1 日
別府市(大分県)	2012年 4 月27日	丸亀市(香川県)	2008年11月17日	下松市(山口県)	2018年10月 5 日
大竹市(広島県)	2012年11月27日	宗像市(福岡県)	2009年 4 月 1 日	出雲市(島根県)	2019年11月22日
廿日市市(広島県)	2015年 6 月 6 日	大牟田市(福岡県)	2009年 9 月 1 日	柳井市(山口県)	2020年 1 月 1 日
広島市(広島県)LECT	2017年 6 月 7 日	熊本市(熊本県)	2010年 5 月24日	武雄市(佐賀県)	2021年 6 月24日
下松市(山口県)	2018年10月 5 日	大川市(福岡県)	2011年 7 月21日		
福山市(広島県)	2019年 6 月28日	藍住町(徳島県)	2011年11月21日		
出雲市(島根県)	2019年11月22日	遠賀町(福岡県)	2011年12月 1 日		
		行橋市(福岡県)避難施設含む	2012年 2 月 1 日		



# イズミグループ会社

イズミグループは、企業間の連携を強め、グループ全体の成長スピードの加速を目指します。



## 株式会社ゆめマート熊本

小売業

熊本県の人々の  
暮らしを支える



熊本県で「より快適で便利な楽しい暮らしと食生活の提案」をモットーにゆめマートを展開。緊急時には地域のライフラインの使命も担う、地域密着の店づくり、サービスが特徴です。

〒861-8010 熊本県熊本市東区上南部2-2-2  
TEL 096-349-0111(代)  
<http://youme-mart.com>



## 株式会社ゆめマート北九州

小売業

福岡県・大分県・山口県で、  
生鮮食品に強み



生鮮食品の鮮度、品揃えの鮮度、売場の鮮度を追求しています。地元発の地産地消を強化した店舗づくりにも力を入れています。

〒807-0823 北九州市八幡西区中須1-1-7  
TEL 093-602-2770(代)  
<https://youme-kitakyushu.co.jp>



## 株式会社ユアーズ

小売業

広島県を中心に  
特徴ある店舗を展開



広島県と岡山市で、レギュラースーパー「ユアーズ」と高質スーパー「アバンセ」を展開。「小さな発見で、毎日を豊かに」を掲げ、明確な特徴を持ち地域貢献を目指しています。

〒732-8580 広島市東区二葉の里3-3-1  
TEL 082-568-8600  
<https://www.yours.co.jp>



## 株式会社デイリーマート

小売業

徳島県の人々の  
暮らしに密着



徳島県で「あふれる笑顔を食卓に」をスローガンに、地域に根ざした食品スーパーを展開。地元の文化や嗜好性を尊重し、温かみのあるサービスで、徳島県の人々の暮らしを支えます。

〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字若宮南100-1  
TEL 0883-52-5467  
<http://dailymart.jp>



## 株式会社ヤマニシ

衣料品卸売業

イズミの源流。  
実用衣料を企画・販売



1950年に創業。インナーウェア、ナイトウェア、レディースウェアなどの自社商品を企画開発。国内全域に販売網をもち、実用衣料のオンリーワンカンパニーとして前進しています。

〒733-8642 広島市西区商工センター2-3-1  
TEL 082-278-1211(代)  
<http://www.kk-yamanishi.co.jp>



## 株式会社ゆめカード

クレジットカード・電子マネー事業

利便性・快適性に応える  
決済システムを発信



クレジットカード事業、電子マネー事業、システム開発事業、トラブル事業、保険事業など、さまざまなサービスを提供。EC決済の強化をはじめ、新規事業の構築にも取り組んでいます。

〒732-8570 広島県広島市東区二葉の里3-3-1  
TEL 0570-666-373  
<https://www.youmecard.jp/>



## 株式会社イズミテクノ

施設管理・工事・指定管理事業

施設の快適や  
安全をサポート



長年培ってきた施設空間の維持・管理・清掃・警備の経験を生かし、各種工事の計画から完成までをトータルマネジメント。工事部門の強化、広島県立美術館など公共施設の指定管理受託といった幅広い事業に取り組んでいます。

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1  
TEL 082-270-2750 <http://izumi-techno.jp>



## イズミ・フード・サービス株式会社

飲食業

おいしくて安心な食で  
笑顔を届ける



和食から洋食や中華まで、幅広く飲食事業を展開。直営店・フランチャイズ共に、食材、調理法にこだわり安心でおいしい食を提供。デリバリーサービスの活用など、時代に即して事業を拡大中です。

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1  
TEL 082-270-3600  
<https://www.izumi.co.jp/food>



## 株式会社ゆめデリカ

食品製造業

「安心・安全・おいしさ」に  
こだわった惣菜を提供



米飯、惣菜各種を中心にイズミグループ各社に商品や原料供給を実施。深川第一・第二工場、商工工場、福岡八女工場で、惣菜事業部と一体となった商品開発、製販一体化を目指します。

〒739-1752 広島市安佐北区上深川町635-2  
TEL 082-844-7880  
<https://www.izumi.co.jp/yumedelica>



## 株式会社ウオッチ・ビジネス・カンパニー

小売業

地域密着の時計専門  
セレクトショップ展開



国内外メーカーのブランドが揃う時計専門のセレクトショップを、西日本を中心に展開。地域一番の時計屋として、修理・アフターメンテナンスにも力を入れています。

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1  
TEL 082-501-4001  
<http://timetime.jp>





地域とともに成長を続ける、イズミのあゆみ

創業期

こんこんと湧き出る成長のいづみ、  
広島に誕生。

成長期

いづみからイズミへ。  
革新が生む、新たなつながり。

躍進期

ゆめタウン、始動。  
新たな「街」づくりへ。

1946 昭和21年

●創業者 山西義政が  
広島駅前で露店を始める

1950 昭和25年

●衣料の卸問屋「株式会社山西商店」を設立

1961 昭和36年

●株式会社いづみ設立、  
第1号店オープン



1967 昭和42年

●広島駅前に大型のいづみ駅前店オープン

1968 昭和43年

●大卒新入社員の採用開始  
●松山いづみオープン

1972 昭和47年

●いづみサンモール店オープン、本通りでパレード

1973 昭和48年

●初の郊外店  
いづみ祇園店オープン



1974 昭和49年

●いづみほか7社と共同でニチリウを設立

1977 昭和52年

●日本チェーンストア協会に加入する

1978 昭和53年

●大阪証券取引所市場第二部、  
広島証券取引所上場

1980 昭和55年

●社名を株式会社いづみ  
→株式会社イズミへ



さらにお客さまに親しまれる企業へ、「イズミ」の  
社名変更を実施。新ロゴマークが誕生しました。

1985 昭和60年

●ファッションビル「ウィズワンダーランド」  
オープン  
八丁堀店を大規模リニューアルし、若者文化の発信地とな  
るファッションビルへ業態転換を実施。  
●POS導入、情報の一元化が進む。

1987 昭和62年

●東京証券取引所市場  
第一部に上場

●福山店がファッションビルCASPAに業態転換  
●aiカード(現:ゆめカード)導入

●瀬戸内ドミナントの加速



1 高陽店(1982)  
2 尾長店(1983)  
3 観音店(1983)  
4 南岩国店(1983)  
5 平島店(1984)  
6 東雲店(1985)  
7 蔵王店(1985)  
8 安芸津店(1986)  
9 可部店(1986)  
10 川尻店(1986)  
11 湯田店(1987)  
12 佐方店(1987)  
13 柳井店(1988)  
14 防府店(1988)

1990 平成2年

●「ゆめタウン」形式の  
ショッピングセンターが誕生  
ゆめタウン東広島オープン



地域密着の大型ショッピングセンター「ゆめタウン」が  
1990年に登場。イズミの店舗展開の基軸に。

●インポート事業のエクセルが始動

1993 平成5年

●代表取締役会長に山西義政、  
代表取締役社長に山西泰明が就任

1993 平成5年

●イズミ女子ハンドボール部設立

1995 平成7年

第二のドミナント戦略。  
九州進出

●ゆめタウン遠賀オープン

1996 平成8年

●ゆめタウン筑紫野をはじめ、計8店舗を出店

1997 平成9年

●財団法人 泉美術館開設

1998 平成10年

●西日本最大級の店舗  
ゆめタウン高松オープン



売場面積38000㎡、西日本最大級のお店がオープン。県外か  
らもお客さまが訪れるゆめタウンの旗艦店に。

これまでのイズミを語る時、忘れてはならないのは、創業時から受け継がれてきた3つのDNAです。現状に甘んじず、発想を変えて切り拓く「革新」。常に前向きに、何事も恐れず、果敢に行動する「挑戦」。良いことは、すぐやる。今やる。出来るまでやる「スピード」。激しく変化を遂げる時代の流れの中にあっても、変わらぬ原点を守り抜きながらイズミはこれからも、一日一日、成長を積み重ねていきます。

変革期

50年の力を、未来へ。  
各地にひろがりゆく、「ゆめ」の街。

2000 平成12年

九州出店の加速  
●夢彩都(現:ゆめタウン夢彩都)オープン  
●ゆめタウン博多オープン

2002 平成14年

●㈱ニコニコ堂から大型4店舗の営業継承

2003 平成15年

●ゆめタウン久留米オープン



2004 平成16年

●ドラッグストア「マツモトキヨシ」と業務提携  
●ゆめタウン光の森オープン

2006 平成18年

●ゆめタウン佐賀がビッグスケールで登場

2008 平成20年

創業の地 広島へ回帰  
●ゆめタウン広島オープン



広島市内に30年ぶりの大型出店となったゆめタウン広島。  
「3世代が楽しめる」少子高齢化時代の店舗スタイルに挑みました。  
●ゆめタウン出雲オープン  
●香川県に、ゆめタウン三豊と  
ゆめタウン丸亀がオープン

2011 平成23年

●広島県・熊本県と包括的連携協定を結ぶ  
●ゆめタウン徳島オープン

2012 平成24年

●ゆめマート形式1号店  
「ゆめマート小倉東」オープン

2013 平成25年

●イズミ新本社ビル竣工  
●ゆめモール形式1号店「ゆめモール下関」オープン

2014 平成26年

●㈱広栄を子会社化

2015 平成27年

●TOBIにより㈱スーパー大栄  
(現㈱ゆめマート北九州)を子会社化  
●㈱ユアーズを子会社化  
●㈱デイリーマートを子会社化

●イズミ史上最大の規模で  
ゆめタウン廿日市オープン



2017 平成29年

●「知・食・住」をテーマとした  
新業態LECT誕生



●中期経営計画(2018年度～2020年度)策定

2018 平成30年

●㈱セブン&アイ・ホールディン  
グスと業務提携

●ゆめかとnanacoの相互利用開始



2019 令和元年

●㈱イトーヨーカ堂から継承した  
「ゆめタウン福山」オープン  
●㈱マルヨシセンターと資本業務提携

2020 令和2年

●セブンプレミアム販売開始



●ゆめタウン誕生30周年

2021 令和3年

●ゆめデリバリーサービスの開始

●イズミ創業60周年



●第二次中期経営計画  
(2021年3月～2026年2月)を策定

2030年長期ビジョンの  
達成を目指し、  
私たちの挑戦は続きます。

21

22





株式会社イズミ

本社 〒732-8555 広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号  
TEL 082-264-3211

<https://www.izumi.co.jp>

